

「居場所のない夜」・「再出発の朝」―学生が体感する「更生と孤立」の現場 元少年院院長・服部達也教授と挑む福岡フィールドワーク 少年・少女支援と出所者支援を体感

京都産業大学 法学部 服部 達也 教授(元少年院院長、専門:矯正社会学・少年法)の「社会安全フィールド・リサーチ」(服部クラス)受講生 8 人および服部ゼミナール生 12 人は、福岡市で 2026 年 9 月 14 日(月)から 3 日間にわたり、西南学院大学の学生とともに、家庭などに居場所がなく、公園などで過ごす「生きづらさ」を抱えた少年・少女へのアウトリーチ活動に参加します。また、代表が法務省就労支援アドバイザーを務める中溝観光開発において、刑務所出所者等である従業員とともに就労体験を行うほか、討議や交流を通じて社会復帰支援の現場について学びます。ぜひご取材いただき、広くご紹介賜りますようお願い申し上げます。

【本件のポイント】

- ・服部クラスでは、2021 年から福岡県でフィールド・リサーチ活動を行っています。受講生は、犯罪や非行からの立ち直りや社会復帰を支援する施設・機関・団体・事業所での見学実習やインタビューを通じて、諸課題やその対策、更生支援など、社会安全に向けた取り組みを学んでいます。
- ・福岡市内の警固公園で、関係支援団体が実施するアウトリーチ活動に参加し、孤立や生きづらさを抱える少年・少女との交流を通じて、支援の必要性への理解を深めます。
- ・中溝観光開発にて、刑務所出所者等である従業員とともに就労体験を行うとともに、当事者の声に耳を傾けます。さらに、討議や対話を通じて、社会復帰支援の現状や課題への理解を深めます。



(過去の活動の様子)

元少年院院長・服部達也教授と挑む福岡フィールドワーク 警固公園でのアウトリーチ & 出所者雇用企業での就労体験

- 日 時 2026 年 9 月 14 日(月)～16 日(水)
- 場 所 警固公園(福岡市中央区天神2丁目2)
中溝観光開発(福岡市博多区祇園町 8-23)
- 参加者 京都産業大学 法学部 社会安全フィールド・リサーチ(服部クラス)受講生 8 人
京都産業大学 法学部 2 年次 服部ゼミナール受講生 12 人
西南学院大学 人間科学部 田中 理絵 教授ゼミナール受講生 6 人

■詳 細

【9 月 14 日(月) 19 時～21 時(予定)】

警固公園でのアウトリーチ活動に参加

学生は、孤立や生きづらさを抱える少年・少女との交流を通じて、支援の必要性への理解を深めます。

【9 月 15 日(火) 9 時 30 分～16 時 30 分】

中溝観光開発にて就労体験。

学生は、刑務所出所者等である従業員とともに働き、社会復帰支援の現場を体感します。

【9 月 16 日(水) 9 時 30 分～12 時】

中溝観光開発で刑務所出所者等である従業員との討議・交流

学生は、討議・対話を通じて相互理解を深め、支援のあり方を考えます。

※ご取材いただける場合は、活動先との調整が必要となりますので、

【9 月 10 日(木)12:30】までに広報部までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

内容について: 法学部 服部 達也 教授

E-mail: th0064@cc.kyoto-su.ac.jp

取材について: 京都産業大学 広報部 TEL:075-705-1411